超訳！区議会語辞典

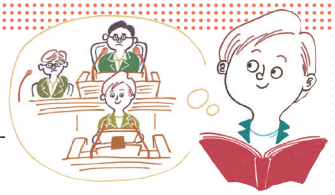


Illustration: Mao Nishida

わからないことだらけの新人の目線で、議会用語を解説します

ふざいしゃ・とうひょう【不在者投票】

▶引っ越して住民票を前の住所から移していない場合などに、今住んでいる場所で投票することが出来る仕組み。あらかじめ住民票の登録地の選挙管理委員会に投票用紙等を郵便で請求して、それを前日までに登録地へ送る。

独自に大学生インターンと「18歳選挙権」後18,19歳100名にアンケートを実施しました。

Q. 参議院議員選挙に行きましたか？

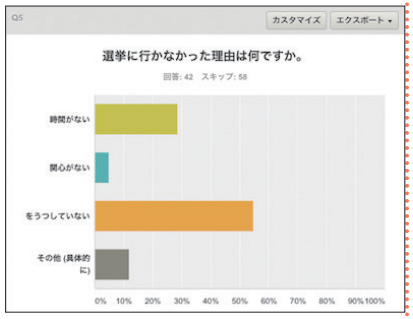
A.Yes 59.0%　No **41.0%**

（板橋区の投票率では、18歳60.9%,19歳52.0%）

Q.行かなかった理由は？

A.住民票を移していないため**54.76%**、時間がない28.57%、関心がない4.76%

→調査結果をふまえて、2016.9一般質問「18歳選挙権」について提案、質問しました。



バックナンバーはホームページから
→http://yukonagumo.net

【ご報告】

私事ですが、2016年秋に結婚しました。これからは明るい家庭を築きながら、自分自身が板橋区で生活し、感じることをより一層仕事に活かしていきたいと思います。

南雲由子（なぐも・ゆうこ）プロフィール

昭和58年　蓮根生まれ

- 同援みどり保育園卒
- 志村第六小卒
- 学習院女子中・高卒
- 山野美容芸術短大卒
- **東京芸術大学卒（先端芸術表現科）**
- **東京大学大学院修了（文化政策）**

まちづくり、障害者の美術ワークショップなどに参画。空き家を活用したシェアオフィスを世田谷、高島平で運営。

ご意見、お困りのことを聞かせてください。

板橋区議会議員 南雲由子事務所

板橋区蓮根 3-4-5-1F（蓮根駅・西台駅から徒歩５分、「肉の万世」となり）

携帯：090-7715-3480　TEL：03-6454-5950

FAX：03-6454-5960

Mail：info@yukonagumo.net

板橋区議会 press web 版：http://yukonagumo.net

Jan. 2017 vol.5

南雲由子 なぐもゆうこ
板橋区議会press

しがらみではなく、創造力でまちをつくる

NEWS 【実現しました】

保育園「育児短時間勤務のポイントについて」

区内の働くお母さんからご相談を受け、H28.6の一般質問で議会で提案した「育児短時間勤務の取り扱い」について、H29年4月から改正されることになりました。（詳しい内容は中面3ページへ）子育てと仕事を両立できる、子育て世代が望む働き方に合わせられるよう、今後も取り組んでいきます。

くわしくは中面③ページへ

NEWS

一般質問（H28.9）＆決算討論（H28.10）で議会で提案しました

① 18歳選挙権について
② 人口ビジョンと子ども・教育政策について
③「板橋区らしいスマートシティ」実現について
④ 老朽建築物等対策条例について
⑤ 障がい者理解促進とダイバーシティについて

（23分、分割質問形式。全文はホームページに掲載しています）

コラム
議員報酬3割削減にむけて

#5 政務活動費　領収書を公開しました

全国で使い方が問題になっている政務活動費。領収書の公開は義務付けられていませんが、南雲のH27年度領収書を全てホームページで公開しました。http://yukonagumo.net/pdf/katsudohi_report201609.pdf

※公約の「議員報酬3割削減」に向け、実際に議員報酬月60万円のうち3割を使わず活動しながらレポートしています。

work in progress 政策の進捗状況

1 「普通の人」の声が届く政治へ

投票率30%アップが目標。そのために政治をわかりやすく伝えます。**しがらみがない**立場で、民間の意見を代弁します。

中学校での模擬投票に参加しました。

2 身を切る改革

政務活動費領収書をホームページで公開しました。

議員定数削減（46→36名）、**議員報酬削減**（月60→42万円）、政務活動費の領収書ネット公開を進めます。

実現しました
H28.6 一般質問
→保育園の「育児短時間勤務のポイント」について改善しました。

3 安心、安全に暮らせるまちへ

首都直下地震発災後72時間のマニュアルをつくり、区民の安全を守ります。また、病院の多い板橋だからこそ、患者と家族が**医療を受けやすくなるサポート**を充実させます。

4 アイデアで魅力的なまちづくりを

→空き家活用について、一般質問で提案しました。

ものづくり× デザインで付加価値を生み**産業を活性化**します。また、助成金に頼らない民間の力で**空き家や空き店舗を活用**し板橋を魅力的なまちに。

5 生きづらさを仕組みから変える

→小規模校での教育&障がい者理解について一般質問で提案しました。

若者の**雇用促進**と、定年後も多様な働き方が可能になる仕組みづくり。そして子育てがしやすい環境を整備します。多様性を認められる未来のために、今からはじめます。

板橋区の待機児童は…

H25年度～H27年度待機児童数

H25.4月	417人
H26.4月	515人
H27.4月	378人
H28.4月	376人

↑23区ワースト2位

保育園に入るには、共働きかどうか、兄弟がいるかなどのチェック項目を元にポイントを計算し、高い方から入園できます。加熱する「保活」の中で、中には保育園に入るため、偽装離婚をしてひとり親家庭としてのポイントを高くするケースなども報道されています。

→H28年度末までに、新規で1050人定員増の予定で「待機児童ゼロ」に向けて取り組んでいます。

【実現しました】「育児短時間勤務の取り扱い」について

before

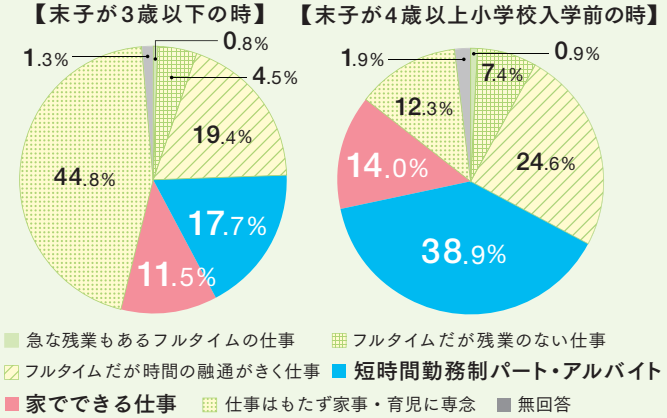
板橋区では、ポイント計算の基準の中に、勤務がフルタイムの場合に、3年間だけ短時間勤務を利用できるという項目があります。しかしこの条件で入園した場合、3歳以降もお母さんが短時間勤務を望んでいる場合で、会社側も許可しているのに、保育園に入れるためにフルタイム勤務にするまたは退園するケースがありました。

after

これが、H29年4月から短時間勤務が小学校入学まで認められることになりました。既に入園している方や、時短勤務を以前利用していた方で今フルタイムを余儀なくされている方でも小学校入学前であれば利用出来るそうです。

[参考] 子育て×理想の働き方とは…

待機児童問題の背景には、保育園に預けたい共働き世帯の増加がありますが、子育ても仕事も大切にしたいと考え、短時間勤務や家で出来る仕事に働き方を変える「ワークダウン・ワークフリー」も注目されています。数だけでなく、子育て世代それぞれの働き方とライフスタイルに合った仕組みになるよう、声を聞きながら今後も取り組んでいきます。



出典：内閣府「少子化社会対策白書」平成27年度版「女性の理想の働き方」アンケート

◎問い合わせ

保育園のことは… 保育サービス課入園相談係 03（3579）2452
子育ての悩みは… 子ども家庭支援センター 03（3579）2656